

作文 問題用紙

注意

- 1 合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 受検番号は、問題用紙、解答用紙の決められたすべての場所に書きましょう。
- 3 解答は、すべて解答用紙の決められた場所に書きましょう。
- 4 問題用紙は二枚、解答用紙は一枚あります。

次の【文章】には、中国地方のある町に転校してきた六年生の少年が、作成している劇の台本について、先生と話をしている様子が書かれています。
 山本さんの学級では、この【文章】から、一人一人が感じたことや考えたことを読み深めていくために、グループで意見を交流することにしました。そのために、まず、【文章】のどの部分に着目すれば良いかについて話し合うことにしました。
 【文章】と【グループの話し合い】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【1枚目】

受検番号

【文章】

(著作権保護のため削除)

(注)どげん || 「どのように」の方言 じゃけえ || 「だから」の方言 ちいと || 「ちょっと」の方言 (重松 清 『ぎよし』による。)

嘘っこ || 「うそ」の方言 いけん || 「いけない」の方言 付けやらんか || 「付けてやれよ」の方言

シベリア || ロシア連邦の東部、日本から北の方向にある地域 じゃけん || 「だから」の方言

自画自賛 || 自分で自分のことをほめること

【グループの話し合い】

木村 来週、みんなで意見を交流するのだけれど、この【文章】に登場する先生が少年に伝えたいことについて、読み深められるようにしたいね。

田中 そうだね。話し合いを進めていくためには、【文章】の中から着目する部分をいくつかあげて、その部分から一人一人が感じたり考えたりしたことを交流すると良いと思うよ。

西村 わたしは、「おまえにびつたりの役じゃけん」の部分を取り上げて話し合うと良いと思う。なぜなら、この部分から、先生が少年のことをどのように思っているかがわかるからだよ。

川上 西村さんの取り上げた部分について考えてみたいね。ほかにも着目する部分がないかな。山本さんは、どの部分を取り上げると、先生が少年に伝えたいことについて読み深められると思うかな。

山本 ※

川上 なるほど、その部分に着目すると、西村さんどちらが理由で読み深められるね。

〜(話し合いが続く)〜

山本さんは、【グループの話し合い】の※で、意見を言います。あなたならどのように言いますか。次の〈条件〉に合わせて書きましょう。

〈条件〉○ 【文章】の中から着目したい部分を二十五字以内でぬき出し、「」でくくって書くこと。
 ○ 着目した部分を学習していくことで、どのようなことが読み深められるか、具体的に書くこと。

二 山本さんたちは、学習の最後にまとめとして、この【文章】を読んで感じたことや考えたことを、自分が今までに経験した内容にふれながら書くことにしました。あなたならどのように書きますか。次の〈条件〉に合わせて書きましょう。
 〈条件〉○ 原こう用紙の使い方に注意して、百二十字以上、百四十字以内にまとめて書くこと。題や氏名を書かないで、本文だけ書くこと。

保健委員の山田さんたちは、「保健だより二月号」を作成することになり、委員会のみんなで担当を決め、記事を書き始めています。
あとの問いに答えましょう。

【保健だより二月号】

保健だより二月号

寒さに負けず元気に！

二月四日は「立春」です。あたたかくなり始めるという節目の立春ですが、まだまだ寒い日が続いていますね。

これらのことに気をつけて、体の中にかぜのウィルスを入れないようにしましょう。

あたたかい服そうのくふう

かぜの予防

寒さが増して空気が乾燥しやすい冬は、かぜが流行します。空気が乾燥すると、かぜのウィルスは活発になります。かぜを予防するために、次の三つのことに取り組みましょう。

- ① 手あらい
- ② うがい
- ③ 部屋のかん気

「記事」

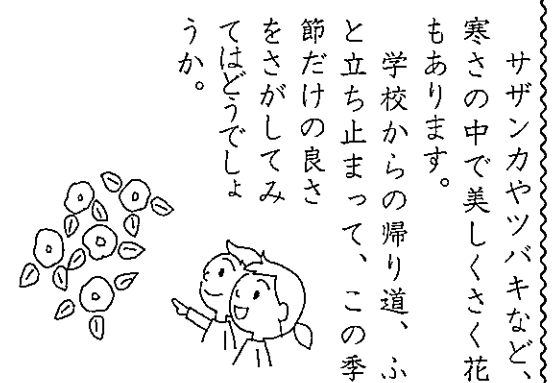
Aのカード

季節感を味わう

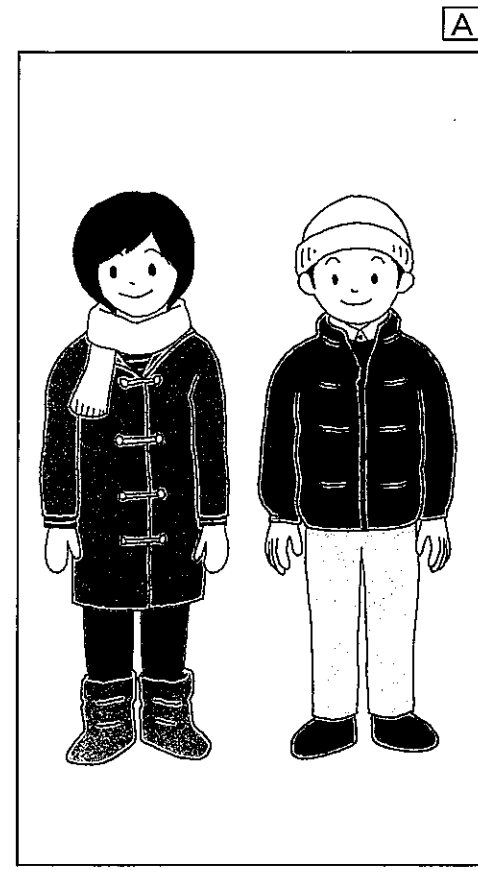
寒い季節は苦手な人もいるかもしれませんが、この季節にしかできないことを見つけて寒い季節を楽しみましょう。大切だと思いませんか。
例えば、雪が降ったら雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりすることも寒い季節を楽しむ方法の一つです。

「なわとび教室」のお知らせ

これらの中で美しく咲く花もあります。サザンカやツバキなど、学校からの帰り道、ふと立ち止まって、この季節だけの良さをさがしてみようか。



あなたは、「あたたかい服そうのくふう」という見出しの「記事」を書くことになりました。次のAとBのカードは、山田さんたちが、あたたかく過ごせる服そうについて、資料で調べたことをもとに作成したものです。次の〈条件〉に合わせて「記事」を書きましょう。
○ Aのカードから服そうのくふうを具体的に見つけ、Bのカードからその服そうをする理由を選び、組み合わせることを。 ○ 原こう用紙の使い方注意して、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。題や氏名を書かないで、本文だけ書くこと。



B

あたたかく過ごすための服そうのコツ

- ・服と服の間に空気のそうをつくる。
- ・足先や指先、首を保温して、体の熱が外へにげることがを防ぐ。
- ・体温で直接あたためられた体のまわりの空気が動かないようにする。
- ・体が冷えないように、あせをすう服を着る。

二 山田さんたちは、体育委員会と合同で行う「なわとび教室」のお知らせについて【案①】と【案②】を考えました。あなたが、お知らせとして使いたい案の一つを選びましょう。また、選んだ理由をそれぞれの持ちようを比べながら書きましょう。

【案①】

「なわとび教室」で体力づくりをしよう

かぜに負けない体づくり

2月22日（水）の昼休み、体育館でなわとび教室をします。なわとび名人からいろいろななわとび方を教わります。新たな名人には、にん定カードをわたします。なわとびを続けることで、かぜに負けない体をつくることができます。

【日時】平成29年2月22日（水）
午後1時10分～午後1時30分

【場所】体育館

【やくそく】

- ・自分のなわとびを持ってきてください。
- ・時間を守ってください。
- ・体そう服で参加してください。

【案②】

「なわとび教室」でなわとび名人になろう

たくさんの参加を待っています！

いろいろなわざができるよ、なわとびがもっと楽しくなるよ。なわとび名人にコツを教わって、楽しくなわとびに取り組み、体をきたえよう。新たになわとび名人になった人は、にん定カードがもらえるよ。がんばろう！

【日時】平成29年2月22日（水）
午後1時10分～午後1時30分

【場所】体育館

【やくそく】

- ・自分のなわとびを持ってきてね。
- ・時間は守ってね。
- ・体そう服で参加してね。

三 【保健だより二月号】の「季節感を味わう」を読んで、あなたが考える、寒い季節の良さについて、次の〈条件〉に合わせて書きましょう。

〈条件〉 ○ 「季節感を味わう」に書いてあること以外の例をあげて、その理由とともに書くこと。 ○ 原こう用紙の使い方に注意して、六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。題や氏名を書かないで、本文だけ書くこと。

【2枚目】
受検番号

作文 解答用紙

1

一

受検番号

二

140字 120字

2

一

100字 80字

二	案①・案② (選んだ理由) ↑案①・案②のいずれかを○で囲むこと。

三

80字 60字